



たづがね (鶴が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子



3学期もご理解ご協力よろしくお願ひします

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって素敵な2026年になりますことを心からお祈り申し上げます。

いよいよ西北台小学校最後の学期となる3学期がスタートを位置づけ、今どきの教職員と再校組んでもう1つ!として、4月から小学校、4月から粉骨碎身で取り組んで楽しみにします。『この学校(期待)』でしか確認できないことを、この3ヶ月間で経験して、この3ヶ月間で成長する手成長をめざします。

この3ヶ月間で、この3ヶ月間も温かいご支援ご協力をよろしくお願ひします。

感謝の会、送る会(市学力調査(13日)、感謝の会、送る会(2月20日)、卒業式(3月18日)など2学期同様に児童の成長を感じられる行事がいくつもあります。また、これまでも実施してきた羽咋小学校との交流【TOMOGAKU】も進めています。

学期のまとめとして学年のまとめとして、そして西北台小学校で過ごす最後の3ヶ月間です。ただ、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」と言われ、あっという間に過ぎ去っていきます。一人一人が目標をもち、仲間や時間、空間、児童の成長をめざします。

間違った印象があります。一人一人が目標をめざしていけることを願っています。何とぞよろしくお願いします。

2026年は丙午(ひのえうま)の年にあたります

[Q1] 丙午(ひのえうま)とは?

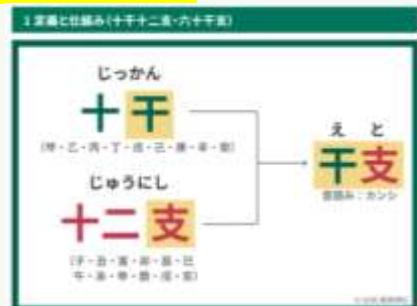
→ 十干の「丙(ひのえ)」と十二支の「午(うま)」が重なる六十干支の一つを指します。通常は年の呼称として用いられます。干支は月・日・刻にも付きます。読みは「ひのえうま」です。

[Q2] 丙午の年に生まれた女性は“気性が強い”は本当?

→ それは歴史的に流布した俗信の一つで、現代的な根拠はありません。

[Q3] 丙午は具体的に何年? 次はいつ来ますか?

→ 丙午は60年ごとに巡り、近現代では1906年・1966年・2026年・2086年…です。
「前回+60年」で覚えると便利です。



2026年は、十二支の「午(うま)」年。うまは、古くから「躍動」「成功」「勝負運」を象徴する干支として知られています。さらに、2026年は60年に一度巡ってくる丙午(ひのえうま)の年。火の性質をもつ「丙」と、行動力を象徴する「午」が重なることで、情熱や勢いが高まり、太陽のようなエネルギーに満ち溢れた一年になると言われています。

そんな2026年を「新たなことにチャレンジする年」にしてもいいかもしれませんね!

万一の災害時に備えて再確認を!

新しい年を無事に迎えることができたことを心から喜んでいます。ただ、「1月1日」という日は能登に住んでいる私たちにとって特別な日となった2年前。災害はいつ・どこで・どのような状況下で起こるか分かりません。また、二次災害についてもしっかりとした知識が必要であることが分かりました。

学校では定期的に、子どもに「家で、学校で、登下校中、遊んでいてなど、災害はいつ起こるか分からない。万一の時は素早く安全行動を取り、自分の命は自分で守る。」と指導しています。この機会に再度災害時の安全行動や災害後の連絡などについて、ご家庭でもご家族で対話をしてみてください。